

Festina lente

March 2022 edition



3/1(火) 高校卒業式 バルーンリリース

新しい世界へと旅立ってゆく34回生へ

34回生学年主任 姫野眞次

岩田学園第34回生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、誠におめでとうございます。

この卒業証書授与式をもちまして、岩田学園の教育プログラムのすべてが終了しました。

これまで、本校の教育活動につきまして、ご理解・ご協力を賜り、本当にありがとうございました。

君たち34回生は、この岩田学園を卒業し、4月からは新しい世界へと旅立ってゆきます。新しい世界では、岩田学園で学んだことを活かして、大いに活躍されて下さい。岩田学園で、さまざまなことを学んだと思いますが、私たちが特に君たち34回生に学んでほしいと思っていた事は、仲間が集まって皆で協力すれば、1人ではできない大きなことができる、という事です。その気持ちをこめて学年テーマを「見たことのない景色を見に行こう」とさせてもらいました。一人では見ることのできない景色を、皆で協力して、皆で見に行くのです。

卒業式の表彰で、高校生新聞社賞というのがありましたが、岩田学園では初めて、団体で表彰されました。グループに所属する皆が協力して、力を出し切って素晴らしい作品を仕上げ、それが総務大臣から表彰されたのです。これはまさに見たことのない景色でした。

コロナ禍という制限の中で開催された学園祭は、前年度までの経験が通用しないものが多く、それぞれのパートが新しく智恵を出し合いました。その結果、すばらしい学園祭になりました。ここでも、これまでに見えない景色を見ることができました。皆で協力すれば、1+1が2とは限らない、場合によっては3にでも4にでも、10にでもなるのです。このことをしっかり学んで、今後の君たちの生活に活かしてほしいです。この3年間、あるいは6年間、岩田学園で共に頑張ってきた仲間を、これからも大切にして下さい。

4月からは、この仲間が全国各地それぞれの場所で頑張っています。だから自分も頑張ろう、そうして下さい。

そうやって頑張っていると、新しい世界で、新しい仲間ができることでしょう。

こうして君たちは、いろいろな仲間に出会って、豊かな人生をおくることになるのです。

そのためのお手伝いをしてきたつもりですが、上手くできたでしょうか。

34回生という時間を、34回生という空間を、これまで3年間、あるいは6年間、皆で共有してきましたが、それもこれで終わりです。4月以降は、君たち一人一人の心の中に、34回生という経験が、34回生という記憶が、未永く存続することを希望します。

卒業証書授与式が無事に終わりました。よって君たち岩田中学校・高等学校、第34回生は、これで解散します。さあみなさん、胸を張って、晴れやかな気持ちで、堂々と、新しい世界へと旅立って行って下さい。3年間、6年間、ありがとうございました。



岳人ノート ～校長通信～

これは、児玉校長から直接投稿された記事を掲載するページです。
生徒・保護者の皆さんへのお知らせやメッセージ、また岩田の歴史を振り返る「岩田 Historia」の連載など、「岩田愛」あふれる内容をご堪能下さい。



岩田高等学校第34回卒業証書授与式 校長式辞

春の息吹が感じられる今日このよき日に、ご家族の皆様方のご臨席を賜り、卒業証書授与式をこのように挙行できますことは、本校にとりまして、この上ない喜びであり、心から感謝申し上げます。

34回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、ここまでの学校生活を振り返れば、勉強のことや部活動のこと、学園祭などの学校行事、そして友達や家族との大切な思い出で満ち溢れていることでしょう。また、辛い時や苦しかった時に眠れない日々もあったことでしょう。そうした時も乗り越え、本日この節目の日を迎えたのです。

34回生はコロナ禍の影響を一番受けた学年でしたが、ご家族のサポートのもと、本当に良く頑張りました。君たちの存在とその成果は、岩田学園の歴史にしっかりと刻まれます。

そして、多様化が進む社会を力強く生きていく皆さんへ、エールとして次の言葉を贈ります。

それは『1つの成功と99の失敗』です。

100の事を行った結果が、たとえ1つの成功と99の失敗であっても、1つの成功に強い希望を持つことが大切です。つまり、1つしか成功しなくても失敗と捉えない。1つが成功したら他の99には成功の可能性があると信じれば勇気が湧き、希望が生まれます。この心構えを得れば、苦境に直面した時、必ず乗り越えられます。そして、人生という山登りにおいて、一歩ずつでも前へ前へと進んでいけば、その景色は『見たことのない美しく感動的なもの』となるでしょう。

“脚力尽くる時、山更に良し”バストを尽くして自分の頑張りが結果に出ることを知った時、何とも言えない幸福感が体の中から湧き上がってきます。これからの人生、たくさんの幸せが待っています。

ご家族の皆様へご挨拶申し上げます。お子さまのご卒業、誠におめでとうございます。様々な状況の中、感慨もひとしおのことと存じます。34回生の皆さんは、本日を節目に大きく巣立っていきます。今後も大学進学、その後の就職活動等で、まだまだご家族の経済的支援や進路選択における助言は大きな役割をもちます。心配事はつきないと思いますが、生きがいは強くなれることでしょう。お子さまの今後の活躍を心より楽しみにしております。

そして、改めまして数ある進路選択から岩田学園をお選びいただき、このように素晴らしい生徒を預けていただいたこと、学校教育活動へのご理解とご協力を賜ったこと、教職員一同感謝の念に堪えません。

それでは最後に、34回生の皆さん。これからは自分で決断することが多くなります。急ぐことはないけれど、素敵な生き方を見つけてください。そして、日々感謝の気持ちを大切に生きていきましょう。

Your efforts now are a gift to your future self.

私たち教職員一同、皆さんの『輝ける未来』における活躍を祈念しています。



令和4年3月1日

岩田高等学校 校長 児玉洋司

【34回生 被表彰者】

- ①理事長賞 青山賢司 小柳卓也 中丸梨夏 山月義友 山村壮史 細谷吉泰
- ②APU・立命館コース優秀賞 田坂敬太
- ③皆勤賞 野仲将斗 中村希来 松尾悟志 山田陽子 渡邊こころ 芦原華穂
今永清陽 浦田勇次郎 大塚朋佳 金城瀬里奈 佐藤将斗 豊田奈穂
中丸梨夏 山内春佳 山月義友
- ④大分県知事賞 中丸梨夏
- ⑤日本私立中高連会長賞 高橋琉碧
- ⑥高校生新聞社賞 第23回全国中学高校Webコンテスト 総務大臣賞&プラチナ賞
岩田高校2年3組Aチーム
(高橋琉碧 中丸梨夏 宮崎蒼良 山内春佳 芦原華穂)
- ⑦大分県私学保護者会長賞 津崎光太郎

【37回生 被表彰者】

- ①理事長賞 小山田りか 古賀ひまり 古代彩捺
- ②皆勤賞 雨宮眞斗 奥雅仁 加藤涼花 藤田もも
猪原諒太 川上晶穂 後藤柚希
衛藤真子 戸高ハンナ 足田正剛 藤澤一輝 古代彩捺
- ③日本私立中高連会長賞 原慶子
- ④大分県私学保護者会会長賞 遠藤千裕

■今年度をもって離任される教職員をお知らせします。

安藤 昌広 先生 (社会科・地歴公民科)

楠田 克彦 先生 (理科)

坂本 文郎 先生 (音楽科)

花宮 大樹 先生 (技術科・情報科)

菅 華蓮 先生 (美術科)

矢須田 陽子 さん (寮母)

安部 信弘 さん (寮監)

これまで本校の教育にたいへんご尽力をいただきました。生徒・教職員一同、皆さま方の今後のご活躍とご多幸を祈念いたします。ありがとうございました。

「留学生、旅立つ！」～ 留学生との交流を通して学んだこと～

APU・立命館大学進学コース担当 廣松 大和

約4か月間の留学期間を終え、4-4,5-4に在籍した計2名の留学生が岩田高校を旅立ちました。文部科学省「アジアの架け橋プロジェクト」奨学生として、コロナ禍でありながらも本学へ留学することが叶ったわけですが、この4か月間は留学生とAPUコース生徒の双方にとってたいへん意義深い学びの機会となりました。異文化交流体験を通じた学びは英語や社会、国語を始めとする教科学習の動機付けになりますし、長期的な国際キャリア形成に向けた人間形成の礎となり、また平和な世界の維持実現を志す、貴重な原体験となります。APUコースの生徒たちもまた、この経験を携えて、次のステップに向け旅立ちます。

「留学生との異文化交流体験アンケート」より

Q1. 留学生との交流を通して、自分自身について発見したことは？

- ・学び始めた当初は新しい言語を学ぶ楽しさを持っていたことを思い出し、言語を学ぶことが好きだと再発見した。
- ・もっと他の国について知りたいと思う自分の探究心を発見した。

Q2. 自分とは異なるバックグラウンドをもつ人たちとうまく付き合っていくために、一番大切なことは？

- ・うまくコミュニケーションを取るために、簡潔でわかりやすい言葉を使ったり素早く答えてあげるための知識が必要だと感じた。
- ・相手の考えを中途半端に理解するのではなく、自分が納得するまで理解する。
- ・違いがあることを当たり前だと思うこと。

Q3. 留学生のことをよく理解する上で、知っておくべきことやわきまえておくべきことは？

- ・自分の文化や考えを押し付けずに、ちゃんと最後まで聞く我慢。
- ・その国のタブーや常識を知っておくこと。
- ・変な日本語を教えないこと。

Q4. 留学生との交流の中で、難しかったけれども、何とかできるようになったことは？

- ・外国人と話すのに抵抗があったけれど、無くなった。
- ・英語を用いて人と会話しようとする勇気がついたし、ある程度の力もついた。
- ・身振り手振りを使ってモノの説明がスムーズにできるようになった。
- ・日本語で難しい単語を簡単な単語だけで説明できた。
- ・相手に伝わるよう話すのを心がけてから、ゆっくりハッキリと話せるようになり、自然なコミュニケーションがとれるようになった。
- ・ベトナム語を練習して、少し話せるようになった。

Q5. 留学生との学級・学校生活を送ってみて、難しかったことは？

- ・とっさに英語での単語が出てこなくて会話が止まってしまったことがあった。
- ・物事の捉え方の違いで、意見の食い違いが時々あったこと。

Q6. 留学生との学級・学校生活を送ってみて、一番良かったことは？

- ・楽しく喋れたこと、文化を交流をしたことが一番の良いことだと思います。
- ・英語力の向上、性格の根本的な見直し。社交的になれるかもしれない。
- ・プレゼン発表などの行事を一緒にすることができたこと。
- ・言葉の壁を実際に感じられたこと。
- ・フィリピンについて興味を持つきっかけになったこと。
- ・説明していくうちに自分の国についても詳しくなり、知恵が増えた。
- ・普通に過ごしていたら日本の食やアニメなどについて話したりすることはないのですが、留学生が来てから、たくさん日本のことについて話すことが多かったのも、自分でも気付かなかった日本の良さなどを知ることができて良かったです。
- ・自分に自信がついた。
- ・日本以外の場所に大切に大好きな友達ができたと。

第39回学園祭でのスナップ（撮影…立川）



生徒も先生も一緒になって、作業が着々と進んでいます。



自分は表舞台に出なくても、大切な仕事はあります。
（左上…学年展示製作／右上…報道部／右下…展示会場管理）



↑リハーサル風景



【学園祭成績】

■クラス展示

1位:3-3 2位:2-2 3位:2-1

■文芸発表

1位:2-1 2位:4-4 3位 4-1~3合同

■総合順位

1位:2-2 2位:2-1 3位:3-3



部活動戦績(2・3月~)

■インターアクトクラブ

2月21日(月)

大分県社会福祉協議会を訪問し、土のう袋を計82袋寄付しました。

被災者の方々に届くよう、袋1枚1枚に部員達がメッセージを書きました。今後も継続して寄付したいと思います。保護者の皆様の温かいサポート、いつもありがとうございます。(顧問 辰口)



■バスケ部

(高校女子)

3/19(土)R3年度 大分県高校新人大会
2回戦 岩田 20-122 中津東

1月に始まった新人戦がコロナのため延期に延期を重ね、2か月後に試合が行われました。その間期末考査があり、学園祭準備があるなどスケジュールが密な中ほとんど試合に向けたチーム練習は行えませんでした。しかし生徒たちは、今自分たちにできる最大のプレーをしてくれたと思います。

保護者の方々の送迎、サポートに感謝いたします。(顧問 野田)